



金城 憲治 議員

# 本町における下水道の整備状況について問う

答 公共下水道全体の61.4%が整備完了している

**問** 下水道事業は61・4%が完了しているが、計画どおりに進んでいるか。

**区画下水道課長** 南風原町の下水道計画は平成42年度まで予定しており、近年どうしても予算が削減され、計画どおりについていない状況である。

**問** 下水道の未接続状況は、接続可能世帯に対してどれくらいなのか。

**副町長** 17・3%となっている。

**問** 下水道接続促進事業補助金交付制度は予算が無くなり次第終了となっている。予算の範囲内で行えている制度なのか。

**区画下水道課長** この事業は平成26年度から行っている。当初は大分申請はあったが、近年は予算内におさまっている。

**問** 下水道接続促進事業補助金交付制度はずっと続けられるか。

**区画下水道課長** 沖縄振興一括交付金の事業であり、その事業がある限り続くと思っている。



下水道体験学習で水をきれいにする実験の様子

## 民族芸能の振興策は

**問** 本町の民族芸能を継承・発展させるためにどのような対策を講じているか。

**教育長** 地域の伝統芸能を継承・発展に寄与するため、伝統芸能保存育成補助金を創設し伝統芸能に必要な衣装、道具等の購入補助を行っている。

**問** 他の市町村との交流等の機会を設けることはできないか。

**教育長** 民俗芸能の交流等の機会を設けることは非常に意義深いことだと思う。町内各自治会や地域の伝統芸能を代表・披露する場を含め、以前開催していた民族芸能交流会についても検討していきたい。

## 災害ボランティアについて

**問** 台風やその他の災害等で弱者の方々の後片付け等のボランティアを町が主体となつて取り組めないか。

**副町長** 台風やその他の災害等で独居世帯等の後片付け有償ボランティア活動を社会福祉協議会と地域が連携して実施している。